



第171号
令和6年2月26日
能代市教育委員会
学校教育課
創刊
昭和42年10月10日
題字 元能代市長
鎌田 宏

随想



幸之助に学ぶ
生き方と生かし方

東雲中学校 校長

檜森 秀樹

松下幸之助は、どんな困難が起きてても、前向き（ポジティブ）に解釈するようにしていた。困難を克服すれば成長できる。同じ困難でも、どう解釈するかによって結果が変わってくるからである。前向きに捉えることによって運もだんだんと強くなってくるそうである。昨年私は、体調を崩し、久しぶりに会った同僚や友人からは「倒れたけど運が良かったね」と言われる。本当は運が良いのか悪いのか分からない。でも幸之助さんを見習い、「今元気なのは、運が良かったからなのかもしれない。」と生徒にも集会で話している。生徒は皆、長所と短所を持っている。

生徒の短所ばかりを見たのでは思い切った仕事を頼めないし、生徒も面白くない。その点、長所を見ると、その長所に従って多くの生かし方が考えられ、思い切った仕事を任せることが出来る。生徒も自分の長所が認められれば嬉しいし、知らず知らず一生懸命になる。これは私たち大人も同じであろう。

もちろん長所ばかり見て、短所をまったく見ないということではない。私は短所四分、長所六分ぐらいで見ることがちょうどよいのではないかと思う。

最後に仏様の「右手のしわ」と皆様からいただいた「左手のしわ」を合わせて、心からナマステ。「ありがとうございます。」

スクール
ニュース

ふるさとの宝物に学ぶ「扇寿タイム」
第五小学校
教頭 滝沢 治

本校は、令和元年度4月に鶴形小、崇徳小、第五小の3校が統合して開校した。それからは、統合により広がった学区域とその財産を生かした「扇寿（せんじゆ）タイム」を実施している。〈見つけよう・伝えよう地域の宝物〉のテーマのもと、3年生は大豆栽培や納豆作り、4年生はモリアオガエル観察やそば打ち体験、5年生は小友沼学習、6年生は伝統芸能体験



や地域のよさの発信等、楽しく充実した学びを続けている。そんな学びができるのは、地域の方々が宝物を大切に、活動を支えてくださるおかげである。感謝を伝えると、いつも「こちらも元気をもらっている。」と嬉しそうに話してくださる。児童にも地域にも笑顔を運ぶ学びである。

輝きの一場面



地域のカデ
伝統を受け継ぐ子ども
学習発表会で鳥形奴踊りを披露
令和5年11月3日 向能代小学校

